

みんなでも考えようまちづくり

Vol.5 生活環境

今年度と来年度の2年をかけて、次期総合計画の策定作業に取り組みます。策定にあたり、市民の皆さんから分野ごとに意見を広く募集します。第5回目の今回は「生活環境」です。

住みやすいまちの環境づくり

市民の皆さんの住環境の整備について、市が行うことは多岐に渡ります。例えば、
 ・道路や公園、下水道などの都市基盤の整備
 ・ごみ収集や土地利用のルールを定める
 ・災害が起きたときに、適切に行動ができる体制を整えるなどがあります。

現総合計画での取り組み

現総合計画では、「都市基盤を整え、快適で魅力的なまちになる」を目標に掲げ、さまざまな事業を展開してきました。その一部を紹介します。
○JR福岡駅の整備
 施設の老朽化に伴うJR福岡駅の建て替えにJR九州と共同で取り組み、平成22年2月に新駅舎の供用を開始しました。新駅舎の東西を結ぶ自由通路が開通したことで、みやじ口(西口)とさいこう口(東口)の両方から改札口への出入りができるようになりました。
○福岡駅東地区画整理事業



▲自由通路が開通したJR福岡駅

福岡駅東地区は区画整理により、都市基盤の整った良質な市街地が整備されました。また、大規模商業施設や病院などの立地が進み、利便性が向上しました。その結果、急速に人口が増加していて、平成27年度末の区域内人口は約4000人に達しました。
○下水道普及率は上昇
 市の平成18年度の公共下水道普及率は23・8%でした。



▲ふくつミニバスは市内を5つのルートで運行

その時期に行った「総合計画に関する住民意識調査」では、下水道の整備に対して半数近い人が不満と感じていました。これ以降整備を進めた結果、平成27年度に下水道普及率は96・9%に達しました。
○ふくつミニバス運行開始
 平成19年の西鉄宮地岳線の一部廃線などを背景に、地域の交通手段確保のため、ふくつミニバスの運行を開始しま



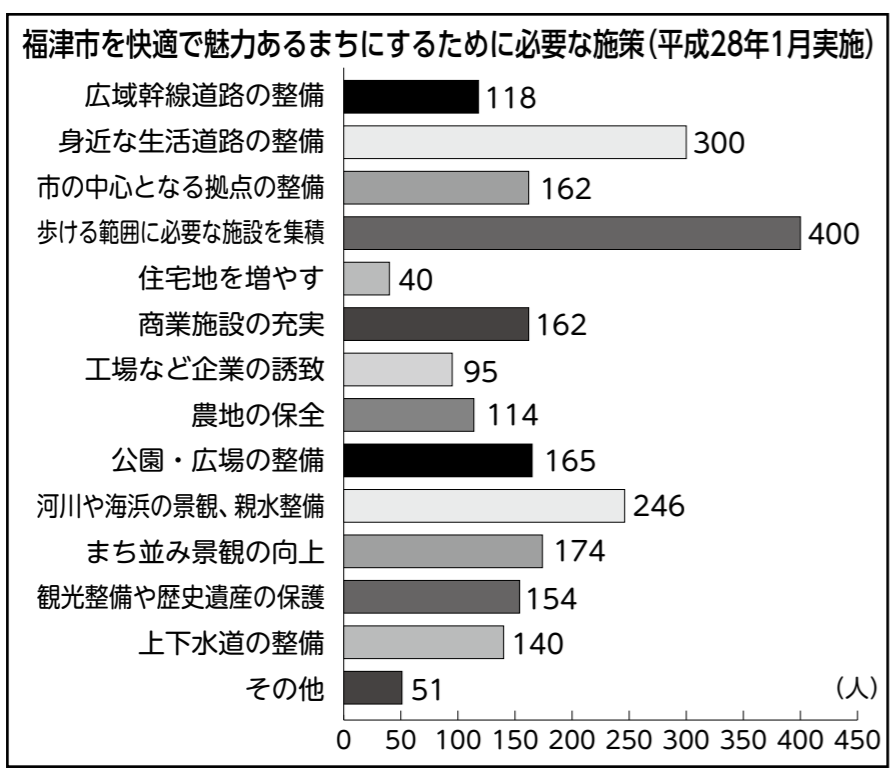
▲一斉防災訓練と同日、市の対策本部設置訓練も実施

市の現状と課題

○橋や道路などの老朽化
 橋や道路などの市の施設は、多くが作られてから長い年月が経過しています。そのため、これらの施設の維持と補修を計画的に行う必要があります。

○防災体制の強化
 福岡西方沖地震や東日本大震災などの災害を受け、防災の意識が高まっていることから、昨年11月に全市一斉防災訓練を実施しました。災害の被害を最小限にするため、このような防災訓練を積み重ねるとともに、身近な危険箇所を把握し、避難手順の確認を

行うなど、市全体で災害時対応の体制を強化することが求められます。
さらに快適で魅力あるまちへ
 左のグラフは、市民の皆さんに「福津市を快適で魅力あるまちにするために必要な施策」を尋ねたアンケート結果



御意見を寄せてください

「生活環境」に関する取り組みについて、御意見を募集します。いただいた御意見は、今後の計画作りに生かしていきます。御意見は下のはがきに記入してお寄せください。皆さんの御協力をよろしくお願いいたします。

計画策定の経過報告

市内の分野別ワーキング会議を引き続き実施しています。また、関西学院大学大学院の石原教授と計画策定に関して随時協議を行っているほか、昨年中に各郷づくり地域からいただいたさまざまな意見をとりまとめ、地域ごとの課題を洗い出す作業を進めています。取りまとめた結果などは、1月頃に各郷づくり地域にお知らせする予定です。
問い合わせ 市行政経営企画課
 ☎ 43・8121

生活環境に関する御意見をお寄せください

点線に沿って切り取り、2月15日(水)までに投函してください。切手は不要です。

郵便はがき 811-3290

料金受取人私郵便

福岡局 承認 7
 差出有効期間 平成29年4月30日まで (切手不要)

福津市役所 行政経営企画課

